

議会だより



No.217
平成30年10月26日
発行：愛知県大口町議会



平成29年度決算認定

2～3

一般質問 「大口中学校学力向上対策」

8～13

「災害時における情報伝達」ほか

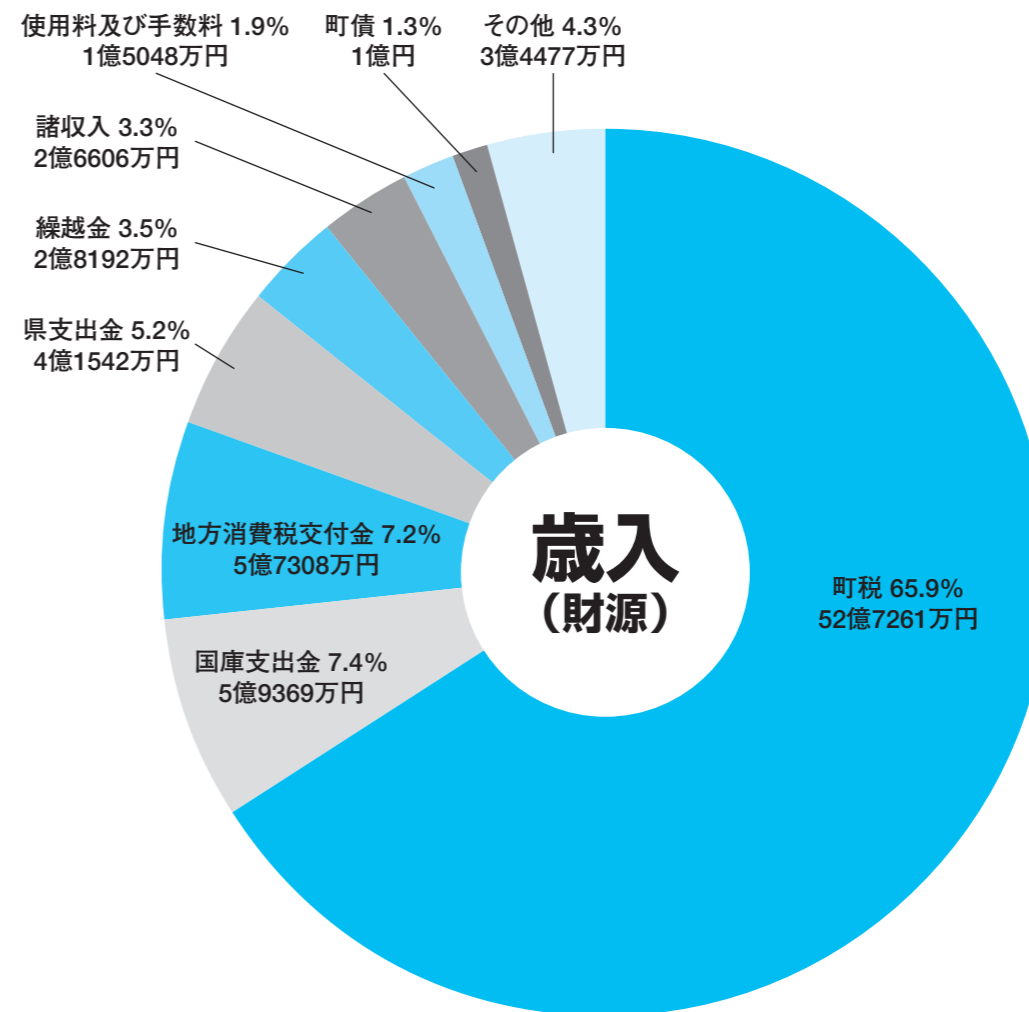
研修報告（総務建設常任委員会・議会広報常任委員会）14～15

大口北保育園
太鼓の練習の様子

平成29年度決算を認定

関連質疑を5ページに掲載!

一般会計歳入決算額 79億9803万円 (前年比6億3392万円減)



財政分析指標の推移

	27年度	28年度	29年度
財政力指数(単年度)	1.23	1.27	1.15
経常収支比率(%)	71.1	76.9	79.0
実質収支比率(%)	8.1	3.5	4.8
公債費比率(%)	-0.7	-0.6	-0.5

歳入は6億3392万円(前年度比7.3%)減少しました。主な要因として、法人町民税が2億2522万円(前年度比23.9%)減少したことがあげられます。

歳出は7億2932万円(前年度比8.7%)減少しました。主な要因は、平成29年度に完成した北保育園の工事費が3億4614万円減額したことなどで民生費が4億669万円(前年度比13.5%)減少したことがあげられます。

財政分析指標解説

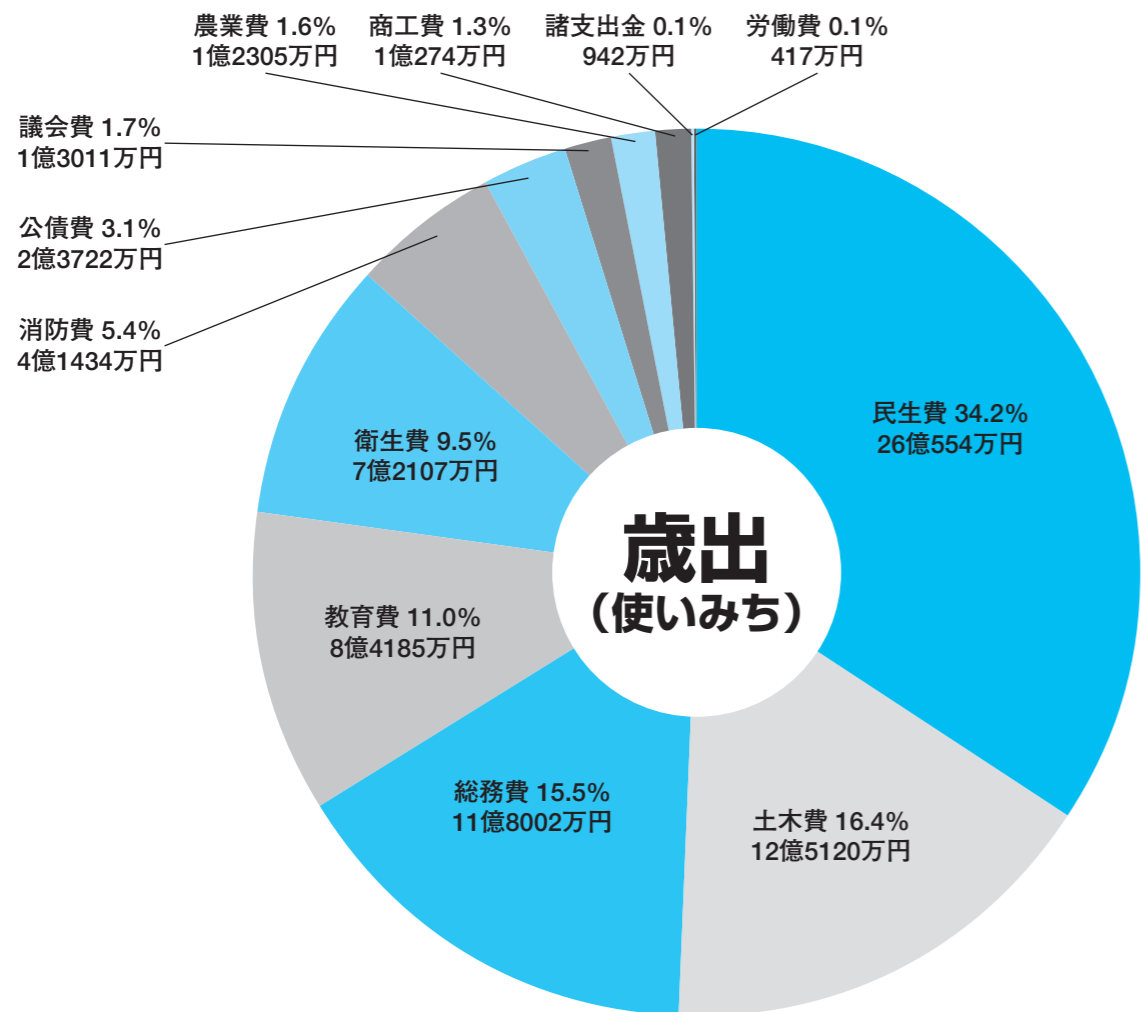
財政力指数とは、地方自治体の財政力を示す指標のことです。過去3年間の平均値が1未満になると、国から普通地方交付税が交付されるようになります。

経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するために用いられる指標です。毎年度経常的に支出される人件費等の経費に充当された、毎年度経常的に収入される地方税等が占める割合を示します。比率が低いほど財政構造に弾力性があるということになります。

実質収支比率とは、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される指標で、実質収支が赤字の場合は正の数、赤字の場合は負の数で表されます。

公債費比率とは、地方自治体の公債費(借金の元金と利息)による財政負担の度合いを判断する指標のひとつで、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模に対する割合を示します。

一般会計歳出決算額 76億2071万円 (前年比7億2932万円減)



平成29年度会計別歳入・歳出決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	79億9803万円	76億2071万円	3億7732万円	
特別会計	国民健康保険	23億7584万円	23億2248万円	5336万円
	介護保険	10億8939万円	10億6499万円	2440万円
	公共下水道事業	8億5280万円	8億5280万円	-
	後期高齢者医療	2億8163万円	2億7877万円	286万円
	農業集落家庭排水事業	2566万円	2566万円	-
	土地取得	2667万円	2667万円	-
	社本育英事業	726万円	726万円	-
	国際交流事業	483万円	483万円	-
小計	46億6408万円	45億8346万円	8062万円	
合計	126億6211万円	122億417万円	4億5794万円	

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合もあります。

9月議会で決まった主な内容など

9月定例会を9月3日から27日までの25日間の会期で開催しました。

- 町提出(11議案、1認定) これからの地域づくり検討委員会設置条例の制定、平成30年度の補正予算、教育委員会委員の任命など

採決の結果

【賛成多数で可決】平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

【全会一致で可決】これからの地域づくり検討委員会設置条例の制定、平成30年度補正予算、教育委員会委員の任命など11議案

- 請願 審議の結果 【採択】3件
 - 陳情 審議の結果 【採択】2件、【継続審査】1件、【聞き置く】1件
- 一般質問は6人の議員が町政全般にわたり質問しました。

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

大口町これからの地域づくり検討委員会設置条例の制定について

行政と地域のあり方や役割、地域課題解決の手段について整理し、検討するための委員会を設置。

問 区長への依頼事項等
の見直し及び整理とは。

答 とあるが、NPOの関係者は含まれるのか。

問 町から区長への依頼事項が増加しており、区長の業務負担が増えているため、依頼事項を精査し、整理していきたい。

問 検討委員会の委員に、その他町長が認めるもの

答 町から区長への依頼事項が増加しており、区長の業務負担が増えているため、依頼事項を精査し、整理していきたい。

問 検討委員会の委員に、その他町長が認めるもの

答 町から区長への依頼事項が増加しており、区長の業務負担が増えているため、依頼事項を精査し、整理していきたい。

平成30年度一般会計補正予算

〔児童センターの施設管理〕

問 児童センターの修繕料追加、計画を立て定期的なメンテナンスを。

答 北児童センターの雨漏りをはじめ、様々な計画外の修繕が発生したため、当初予定していた修繕ができなくなった。今後も施設の点検をしながら、計画的にメンテナンスしていきたい。

〔道路維持管理事業〕

問 丹羽広域事務組合水道部が中部水源水道施設を廃止。その敷地を町が取得し、一部を道路拡張、残りを住民が使えるようにするとのことだが、どんな計画か。

答 井戸を再活用したボケツトパーク(小さな広場)の整備を予定している。

平成30年度国民健康保険会計補正予算

〔保険税の減税〕

問 繰越金が5335万5千円発生している。これだけ余るなら、保険税の減税ができたのでは。

答 この繰越金は、被保険者の減少による給付の減や共同拠出金の減額があったほか、予算不足が懸念されたため、財政調整基金から三千万円の繰り入れを行ったことによるもの。

平成29年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

一般会計

〔経常収支比率〕

問 平成27年度から29年度にかけて数値が増えている理由は。(2ページ参照)

答 29年度については、法人住民税の減少や、扶助費に充当した経常の一般財源が増加したことなどがよるもの。

〔コミュニティバス〕

問 町内のイベント等の活用で利用者が増えるのではないか。

答 今年度はふれあいまつりの11月4日を無料デーとするので、このような機会に利用していただきたい。併せてアンケートを実施し、みなさんの意見を聞いてみたいと考えている。

問 経常収支比率は75%以内に収めるのが妥当であるが、その根拠は。

答 昭和44年度に発行された自治省財政局指導課編「財政分析」によると、経常収支比率は75%程度内に収めることが適当と考えられると記載されている。

胃がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	胃がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日
肺がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	肺がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日
大腸がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	大腸がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日
歯の口腔がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	歯の口腔がん検診 無料クーポン券 有効期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日

無料クーポン券が届いた方はこの機会に受診を!!

〔高齢者のインフルエンザ予防接種〕

問 昨年度の接種率が下がった原因は。

答 一時的にワクチンが不足し、希望する人が接種する時期を待ったということが考えられる。また、早い段階から流行し、重篤な状況になっているといったニュースが流れると予防的意識が働くことが考えられ、インフルエンザが著しく流行した年は接種率が高かった。

〔がん検診〕

問 町のがん検診を無料にしてはどうか。

答 平成26年度より、40歳から5歳刻みで60歳までの方に無料で受診できるクーポン券を配布している。全体の受診率も伸び悩んでいるが、クーポン券の利用率も伸び悩んでいることから、自己負担があるから受診しないということではないと考えられる。

〔災害対策・避難所〕

問 台風等で避難所を開設する際に、学共等の施設を地域の避難所として開放できないか。

答 地元区や地域のみならずの協力を得ながら、そういった体制を整えられるよう進めていきたい。

〔給食センター〕

問 多額の修繕費が発生している。そろそろ大規模修繕を考えてもいい時期では。

答 給食センターの建築から30年目を迎え、経年劣化による故障が目立っている。現在は、毎年度実施する定期点検の結果に基づいた修繕計画を立てているので、早め早めの対応に努めていきたい。

公共下水道事業特別会計

問 五条川左岸地区の不明水が増えているとあるが、その対策は。

答 管路調査を行い、施設の維持更新が図られるよう、その対策に取り組むための計画を策定しているところ。来年度からは国の交付金を活用し、特に古い幹線について調査していきたい。

町政を問う

ここが聞きたい!

6議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

YouTube
公式チャンネル
「議会大口町」
QRコード



- 伊藤 浩 大口中学校学力向上対策 学力調査の結果を全国と比較するとどうか・・・ P8
学力向上のためにどのような対策を講じる予定か
- 江口昌史 災害発生時の情報伝達手段は・・・ P9
多世代が集う憩い広場 五条川・小口城址公園との一体感ある取組みは
- 鈴木義彦 ふれあい池の現状は・・・ P10
愛岐南北線の今後の予定は
- 柘植 満 児童生徒の重たい荷物の軽減を・・・ P11
中学生へのピロリ菌検査の実施を
- 岡 孝夫 図書館・健康文化センター等の周辺駐車場 駐車場不足、使い勝手等への声は・・・ P12
ミストシャワー（ドライミスト） 公共施設への導入は
- 吉田 正 教員の多忙の実態は・・・ P13
教員の多忙を解消すべき

定例会で賛否の分かれた議案

他の町提出11議案と議員提出3議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

議案名	議員名										結				
	吉田	岡	船戸	江口	酒井	鈴木	大木	齊木	柘植	伊藤		丹羽	宮田	丹羽	倉知
平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書提出について	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

賛否が分かれた議案の討論要旨は次のとおりです

平成29年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

反対討論 吉田 正

健全な財政運営については評価。
この健全な財政運営を活かし、高齢者などの外出支援サービスや、

子ども医療費など福祉医療制度の充実が図られていないとして反対。

賛成討論 船戸光夫

監査委員の評価にあるように、一般会計及び特別会計全般に渡り適切な執行がなされている。

平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書提出について

反対討論 吉田 正

消費税増税で生産台数が30万台減少し、マインス2兆円の経済効果、9万人の雇用減少との試算結果がある。消費税増税についても反対すべき。

賛成討論 岡 孝夫

複雑かつ過重な税が課せられることに加え、一般財源化による課税根拠の喪失や消費税との二重課税が存在している現状を見直し、シンプルに整理することが重要。
自動車関係諸税の過重な負担による国内市場の縮小は、自動車関連企業が立地し、それらに勤める人も多い本町にとっては、財政や雇用問題にも大きな影響が懸念される。

9月定例会に提出された3件の請願と4件の陳情は、所管の常任委員会審査しました。

【請願】

・大口町歯と口の健康づくり推進条例制定に関する請願 (採択)

請願者 全日本自動車産業労働組合総連合会

一般社団法人 尾北歯科医師会

会長 小岩井浩

地区長 伊藤文一

紹介議員 鈴木義彦

・臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書 (継続審査)

陳情者

移植ツーリズムを考える会

理事 井田敏美

4件の意見書を国や県へ送付しました。

【陳情】

・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書 (採択)

請願者

愛知私学助成をすすめる会

会長 折出健二

愛知私学助成をすすめる会

会長 寺田京子

紹介議員 鈴木義彦

【採択】

・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書 (採択)

請願者

私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書 (聞き置く)

陳情者

代表 安井明則

私学をよくする愛知父母懇談会

会長 折出健二

愛知私学助成をすすめる会

会長 寺田京子

紹介議員 鈴木義彦

【採択】

・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書 (全員賛成で可決)

請願者

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書 (全員賛成で可決)

陳情者

平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書 (賛成多数で可決)

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

追跡

1年前の一般質問から

空き地の適正管理に関する条例制定を

問 空き地の適正管理のため、町が所有者に代わり強制的に撤去等を行う行政代執行を定めた条例の制定を。

答 町が代執行した後の経費の徴収方法の問題から現在のところ導入する考えはない。

代執行後の経費の徴収方法が課題となっており、この解決策が見いだせないため、今後も文書による依頼や訪問により、解決が図られるよう対応する。

質問者の満足度 雑草の繁茂放置は近隣に迷惑。土地所有者は管理の徹底を。
がっかり

こうなった

越水などの被害を食い止める手段を

問 五条川の堤防のかさ上げ工事など、今回のような事態を事前に食い止める手段が必要。

答 愛知県に対し、越水しやすい箇所対策を要望する。

五条川の浚渫工事(北河原橋~白木橋、及び五条橋~桜橋の区間)、災害対策緊急事業推進費による合瀬川改修工事を実施したほか、青木川放水路事業(昭和川調節池~奈良子川調節池の区間)に着手した。

質問者の満足度 今後も引き続き対策を。
まあまあ

船戸 光夫

鈴木 義彦

平成29年9月議会



伊藤 浩



平成30年9月定例会一般質問
(伊藤議員)動画QRコード

一般質問

伊藤 浩

大口中学校学力向上対策 学力調査の結果を全国と比較するとどうか

派遣指導主事 国語は同等、数学は活用問題がやや下回った

伊藤 3年生の全国学力調査では、平成29年度と30年度を比較すると結果はどうだったか。

派遣指導主事 29年度調査では、4科目中3科目が「やや下回る」という結果だったが、30年度調査では、国語A、国語B、数学Aの3科目において、平均正答率が全国と「同等」になった。(表1参照)

伊藤 毎年作成の「大口学びスタイル」の導入経緯と内容はどのようか。

派遣指導主事 28年度から導入しており、今年度で3年目を迎える。先生方の授業マニュアルであり、小中の9年間を一貫した授業スタイルで統一するもの。

主な内容は、策定の趣旨、目指す子ども像、その授業像、町内で統一していることとする授業スタイルの具体、家庭学習に関連した町内共通指針などで構成されている。

(表1) 全国学力調査の全国平均値との比較

科目	平成29年度	平成30年度
国語A(知識)	同等	同等
国語B(活用)	やや下回る	同等
数学A(知識)	やや下回る	同等
数学B(活用)	やや下回る	やや下回る

学力向上のためにどのような対策を講じる予定か

派遣指導主事 学びスタイル、家庭学習スタンダードや授業研究に力点を

伊藤 一人学びに有効なタブレットを各校へ教師用と各学級用を早急に導入すべきでは。

生涯教育部長 現在ある41台の各校持ち回り体制をあらため、小学校は各学年に1台、中学校は主要5教科に1台の計23台を教師用に分配した。残り18台は次期学習指導要領の「小学校プログラミング教育の必修化」に向け、グループ学習で使用する想定で、各小学校に6台ずつ配分した。

なお、2年後に、パソコンルームのパソコン更新時期を迎えるため、その際にはパソコンからタブレットに切り替える予定。

伊藤 先進校に学び、大口中学校独自のどんな学力向上対策を講じる予定か。

教育長 大口町独自の小・中連携を踏まえた「大口学びスタイル」「大口家庭学習スタンダード」を定着させること、また、授業研究を中心とした現職教育の推進を支援することに力を入れている。



町立小中学校が一貫して取り組む基本方針を示した「大口学びスタイル2018」

災害発生時の情報伝達手段は

地域協働部長 戸別受信機、屋外防災スピーカー、メール配信、ホームページ

江口 本町における災害発生時の町民に対する情報伝達手段は。

地域協働部長 希望される所に無償貸与している戸別受信機、町内18か所に設置された屋外防災スピーカー、あんしん・安全ネットワークによるメール配信、町ホームページによる情報配信、ケーブルテレビによるテレビ放映が災害時における情報伝達の手段となる。

江口 今年の6月から運用が開始された危機管理型水位計の効果は。

地域協働部長 パソコンやスマートフォンで随時状況を確認できるため、大雨の際には河川管理担当、防災担当の職員が現場に出ることなく逐一状況を確認し、非常時に備えることができた。

江口 普段から町民の防災意識を高めるためにもハザードマップや避難場所を広報しておくに定期的に掲載できないか。

地域協働部長 ハザードマップについては平成26年3月に作成した際、全戸配布し、転入者にも配布している。広報誌への定期掲載は難しいが、関連記事がある場合には随時掲載していきたい。また、地区の学供等、みなさんが集まる場所に掲示するなど新たな周知方法についても模索していきたい。



江口 昌史



平成30年9月定例会一般質問
(江口議員)動画QRコード

一般質問

江口 昌史

多世代が集う憩い広場 五条川・小口城址公園との一体感ある取組みは

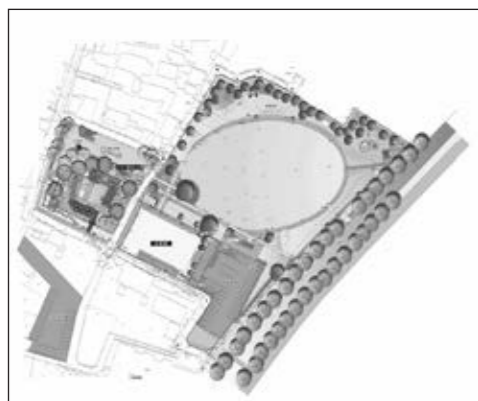
産業建設部長 それぞれの「つながり」に配慮して計画

江口 工事の進行状況は予定どおりか。

産業建設部長 3か年計画で進めており、今年度が最終年度。工事は予定どおりで、来年の3月、桜が咲く頃までの完成を目標に進めている。

江口 本広場の建設にあたり、五条川や小口城址公園との一体感のある取組みは。

町長 単なる「広場」ではなく、五条川や小口城址公園を含めた、地域一帯をひとつの「場」と捉え、幅広い世代のみなさんがそれぞれの思いで楽しみ、つながっていくような場になることを願う。



平成31年3月完成予定の「多世代が集う憩い広場」の完成イメージ図



鈴木義彦



平成30年9月定例会一般質問
(鈴木議員)動画QRコード

ふれあい池の現状は 産業建設部長 別の用途での有効活用を検討

鈴木

ふれあい池が供用開始された年度はいつか。また、面積はどれくらいか。

産業建設部長

平成11年度に供用開始され、面積は1960㎡。

鈴木

年々利用者が減少しているようだが、ここ数年間の利用者数は。

産業建設部長

ふれあいまつりで開催する釣りまつりでの利用者数を除いた利用者数は、27年度は、122日間の開場で386人。28年度は、119日間の開場で486人。29年度は108日間の開場で317人。



今後の新たな活用方法が検討される現在のふれあい池の様子

鈴木

今後も、今のままの状態を継続するのか、あるいは何かほかのものにする計画はあるのか。

産業建設部長

利用者数を考えても一日当たりの利用者数も少ない。また、観察池としての使命も終えたと考えており、このまま続けるよりも別の用途として有効活用できないかと考えている。

井戸もあるため、これを活かした利用方法がないかも検討したい。

愛岐南北線の今後の予定は

産業建設部長 今後4～5年での工事完了を目指すとのこと

鈴木

道路用地確保の目途が付き、工事も順調に進んでいると思われるが、完成はいつごろの予定か。

産業建設部長

愛岐南北線は愛知県の事業であるため、県に進捗状況を確認したところ、県道若宮江南線から国道155線までの区間については、現在約94%の用地が確保できており、残りについても今年度内に契約ができるよう交渉中。今後、4～5年での工事完了を目標にしているとのこと。

鈴木

完成後は御供所地区の小学生が横断することになるが、交通安全対策についてはどのようにお考えか。

産業建設部長

町道豊三線と同様に押ボタン式の信号設置が望ましいと考えている。現在、江南警察署などの関係機関、関係部署と設置に向けて協議し調整を行っているところ。



現在の愛岐南北線の様子（堀尾跡一丁目地内）

児童生徒の重たい荷物の軽減を

生涯教育部長 荷物の現状を把握し、今後の対策を検討

柘植

今、ランドセル等の荷物が重たいことが、健康上の問題になっている。

生涯教育部長

2011年の学習指導要領の改訂により教科書のページ数が増加し、見やすさにも重点を置いたことで、教科書自体のサイズが大きくなるなど、教科書が変化したことによるもの。教科書の他にも習字道

柘植

健康への影響の認識は。成長期の子どもたちが重い荷物を背負うことによって、本来は伸びるべき身長よりも抑えられたり、腰痛や肩こりの要因にも十分なりうるとの医師の見解がある。また、海外では荷物は体重の10%程度が適切との研究も

柘植

健康への影響の認識は。成長期の子どもたちが重い荷物を背負うことによって、本来は伸びるべき身長よりも抑えられたり、腰痛や肩こりの要因にも十分なりうるとの医師の見解がある。また、海外では荷物は体重の10%程度が適切との研究も

生涯教育部長

まずは現状把握のため、学校教育課職員が各小中学校を巡回し、児童生徒の荷物の重量を測定する。その結果をもとに今後の対策を検討する。



柘植 満



平成30年9月定例会一般質問
(柘植議員)動画QRコード



小学校での荷物の重さチェックの様子

中学生へのピロリ菌検査の実施を

健康福祉部長 検査の対象年齢の拡大を検討

柘植

胃がんは男性では死亡率のトップ。ピロリ菌検査を実施し、中学生からがん予防に取り組んでいる自治体が増えている。

生涯教育部長

学校教育でのがん教育の現状は。がん予防に特化はしていないが、保健体育の授業で触れている。また、学校保健委員会や総合の学習の時間を活用し、外部講師による講演を企画することもある。

柘植

WHOなどの専門組織は胃がん対策は、ピロリ菌除菌に重点を置くべきだと発表している。

健康福祉部長

中学生を対象としたピロリ菌検査の実施ではなく、現在40歳以上の方を対象に行っている「ヘリコバクターピロリ抗体及びペプシノゲン検査」の対象年齢を、若年者に拡大する方向で検討。

図書館・健康文化センター等の周辺駐車場

駐車場不足、使い勝手等への声は

健康福祉部長 利用者からの苦情等は受けていない



岡孝夫



平成30年9月定例会一般質問
(岡議員) 動画QRコード

岡 平成24年の図書館利用者アンケート調査では、駐車場に関する不満の声があった。その後、駐車場の拡張等が行われたが、現状への認識は。

健康福祉部長

27年度に健康文化センター西側駐車場を拡張し、79台分が増えた。平日の慢性的な駐車場不足は解消。休日、イベント等があったても大きな混乱や路上駐車、また、利用者からの苦情等はない。

岡 5月中旬の休日、グランドで大きなイベントがあった折、路上駐車は把握していないが、健康文化センター西側の駐車場では枠外の駐車が多数あったと記憶している。

休日等に資源リサイクルセンターの駐車場を開けられないか。総合的な管理体制や安全対策のため、今しばらく検討したい。



9月15日(土) 10:00 雨 このとき、中央公民館北側駐車場は満車でした

岡 施設全般の利用者を対象に定期的なアンケート調査で駐車場の使い勝手を含めて問うべき。より良い施設運営に向け、関係部署等と調整し、アンケートの準備を進めていきたい。

ミストシャワー(ドライミスト) 公共施設への導入は

生涯教育部長 直ちに導入することは考えていない

岡 今夏の異常な暑さ対策として、各児童センターに簡易型のミストシャワーが仮設・試行されたことに感謝する。児童や父兄等からの評判は。「気持ちが良い」、「涼しい」とミストの霧を浴びている子どもたちの姿があり、保護者からも「気温が下がった感じがする」等、好意的な声があり、評判は上々と感じている。



仮設された簡易型ミストシャワー(南児童センター) 子どもたちのしゃく声は聞こえてきそうです

岡 保育園・学校・公園・グラウンドといった公共施設への導入は。保育園にはエアコンや扇風機等もあり、また、保育士の管理のもと熱中症への対策を講じていることから、直ちに設置することはしなかった。来季に向け、必要性を検討していく。

生涯教育部長

利用方法や管理体制の課題から、直ちに導入することは考えていない。

教員の多忙の実態は

生涯教育部長 五月の調査では過労死ラインを超える割合は小学校18.1% 中学校70.5%

吉田

文科省が発表した『教員勤務実態調査(以下、実態調査)』(平成28年度)の集計速報値によると、教諭の平日の勤務時間は12時間であることが分かった。

本町教育委員会も独自に調査しているようだが、文科省の調査とそれぞれの内容は。

生涯教育部長

それぞれの調査の結果は表1のとおり。

ただし、この2つの調査は測定時間の観点が異なるため、目には比較検討はできないが、それぞれの調査で明らかになったのは次のとおり。

文科省の実態調査では、月の残業時間は小学校で55時間、中学校で60時間



吉田正



平成30年9月定例会一般質問
(吉田議員) 動画QRコード
(表1)

1. 教員勤務実態調査(文科省調査:平成28年度、平成18年度)【抜粋】

(注) 学内勤務時間とは、正規の勤務時間7時間45分と休憩時間45分を含んだ時間である。

(1) 教諭の1日当たりの学内勤務時間・持ち帰り業務時間(平日)(単位 時間:分)

	合計(①+②)		学内勤務時間①		持ち帰り時間②	
	平成18年度	平成28年度	平成18年度	平成28年度	平成18年度	平成28年度
小学校	11:10	11:44	10:32	11:15	0:38	0:29
中学校	11:22	11:52	11:00	11:32	0:22	0:20

2. 在校時間調査(大口町調査:平成30年度)

(注) 在校時間とは、正規の勤務時間7時間45分と休憩時間45分を除いた時間である。

(1) 在校時間が月80時間を超える職員の割合 (%)

	4月	5月	6月	7月
小学校	18.1	18.1	22.2	8.3
中学校	65.9	70.5	61.4	45.5
全校	36.2	37.9	37.1	22.4

(2) 在校時間の月平均の時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月
小学校	61.2	61.5	62.4	46.7
中学校	99.4	100.2	91.2	81.5
全校	80.3	80.8	76.8	64.1

程度。一方、本町教育委員会が実施した「在校時間調査」では、一番多い月である5月において、平均で、小学校で約62時間、中学校で約100時間となっている。

教員の多忙を解消すべき

生涯教育部長 国費、県費による人員配置の充実を要望している

吉田

文科省の実態調査によれば、教諭は過労死ライン(月80時間以上の残業)を超えている状況。小学校での英語の教科化、全国学力テストの導入など、多忙化に拍車をかけている。抜本的な対策として行えることは、クラスの少人数化ではないか。

生涯教育部長

現在は40人学級が基準となっており、算出され、それに従って教員が配当される。35人学級になれば、学級数が増え、教員配当も増えるが、これは義務教育の機会均等の観点から国の責任で行うものと考えている。

本町においては、こうした考えから、少人数指導講師を各小学校に1名ずつ、ティームティーチング講師を中学校に3名町費にて独自に配置している。

国費、県費による人員配置の充実においても、折を見て要望している。

総務建設常任委員会は、7月5日、6日に委員7人と職員3人で国土交通省及び環境省を訪問し、所管テーマに関する国の施策等についての研修を受けてきました。

国土交通省

「防災子ども安全まちづくり」

災害時に安全に移動するため、地域防災計画に基づいて小学校を中心とするエリアで、避難路改善、防災施設整備、通学路、遊び場の安全対策を実施し、防災性と子ども

の安全性の向上を目指すものとのことでした。

「コミュニティバス事業」

は本人に連絡することも可能との内容でした。

岐阜市の事例紹介がありました。高齢者の地域内における日常生活の移動手段確保のため、地域住民が主役となる市民協働の手作りバスです。

「空き家対策」

空き家対策特別措置法は、適正に管理されない空き家が、周辺の生活環境に影響を及ぼしていることを背景に制定されました。

これにより、固定資産課税台帳を利用して、所有者情報を市町村内部で利用可能になり、市町村

住民主体の運営協議会を設置して、ルート、ダイヤ、運賃も地域で決めており、バス停の組み立ても地域住民が行っているそうです。

運行はバス事業者が担っており、運営経費の15%から40%を運賃収入や広告収入で賄い、不足分を岐阜市の補助金で補っているとのことでした。



国土交通省では空き家対策等についての研修を受講

環境省

「カーボンマネジメント強化事業」

我が国が抱える環境、経済、社会の課題、あるいは持続可能な社会に向けた国際的潮流を把握し、環境基本計画に沿った施策を展開する一連の流れの説明がありました。

その中で、本町も申請し採択された地方公共団体カーボンマネジメント強化事業補助金についての説明もあり、本町の事業は様々な条件をクリアしていることを改めて理解しました。

所感

今回の研修を受けて、避難路の改善、施設整備についての課題が本町にも残されていることや、本町でも見込まれる空き家の増加は、早期の対策が求められることを再認識しました。

コミュニティバスは、紹介された事例をそのまま本町に当てはめることはできませんが、住民が主体的に運営に参加していることは、今後の取り組み方に十分参考になるものと感じました。

環境政策についても、昨今の異常な天候を考えると、温室効果ガスの削減に向けて、行政、企業、住民が一体となって取り組んでいく大切さを改めて感じました。

今後、これらのことを活かし、町執行部への提案等を含めてよりよい大口町になるように努力して参ります。



環境省ではカーボンマネジメント事業についての研修を受講

議会広報常任委員会は、7月10日、11日に委員5人と職員1人で、全国町村議長会主催の研修会を受講及び群馬県玉村町議会にて、議会たよりの編集について視察を行いました。

町村議会広報クリニック

講師：吉村潔氏(エディター広報アナリスト)

この研修は、参加町村のうち、希望する8つほどの町村の議会広報誌を題材として取り上げ、講師が編集のポイント等について解説するものです。取り上げてもらえるのは1年おきで、本町は昨年の研修会で取り上げてもらったため、今年は何町村の議会広報誌を題材にして、編集のポイント等を学びました。

住民が参加し、若い世代の意見も反映される議会広報誌に

次の5点を常にイメージして編集することが大切であるとの内容でした。

- ① 進んで手に取り、読みたくなる広報誌にする
- ② 定例会の争点や論点をきちんと伝えること
- ③ 情報をきちんと編集し、分かりやすくする
- ④ 住民参加を促し、その方法を強化する
- ⑤ 若い世代の意見を取り入れること



他町村の広報クリニックを聴き、広報編集のポイントについて講師からの説明を受ける様子

群馬県玉村町議会

平成29年度町村議会広報コンクール優良賞を受賞



玉村町議会では優良賞を受賞するまでの経緯などについてお話を伺いました



この表紙デザインに変えてから読む方が増え、親しみやすいなど評判も良いとのこと

視察地の概要

玉村町は、群馬県の南端の平野部に位置し、人口は約3万5800人、面積は25.78km²で、浅間山、谷川岳などの山々が眺望できる景色がきれいなまちです。

昨年度の町村議会広報コンクールにおいて優良賞を受賞されています。

読みやすい紙面デザイン

1ページが4段組みで構成されているため、文字が大きく、大変読みやすくなっています。

また、レイアウトも素敵で、住民の皆様の間心を引きやすいものとなっています。

編集の特徴

約10年前から印刷会社が広報誌の企画段階から編集に携わっており、専門家の目から見た助言を受けながら、編集を行っています。

所感

今回の研修会及び視察先で学んだことを活かし、より多くの住民の皆様の手にとって読んでいただける議会広報誌づくりを目指し、委員一同、努力して参ります。

まちの 元気者

健康管理は仲間と共に

河北太極拳同好会のみなさん

30年ほど前から大口町で盛んに行われている太極拳、中央公民館などで教室も開催されています。

今回は河北地区で活動している河北太極拳同好会のみなさん取材しました。

♪ 同好会をつくられたきっかけは？

町が主催する教室に通っていましたが、会場が遠いため、近くでできたらと思い、代表の仲澤さんが近所の方に声をかけて発足しました。



代表の仲澤さん(前列左から2番目)と
仲間のみなさん

♪ 練習はいつどこでやっていますか？

毎週水曜日の午後1時30分から3時30分まで、河北学習等供用施設でやっています。



いつまでも健康で元気な体を目指してます！

♪ 太極拳をやってみて、みなさんの感想は？

「日常生活が明るくなった」、「体のバランスがよくなった」、「足腰が丈夫になった」など、健康面において良い効果を感じられる方が多いです。

また、練習後に会員同士の会話で交流を深められ、みんなで一緒に健康づくりに取り組んでいけるのも魅力のひとつです。

取材を終えて

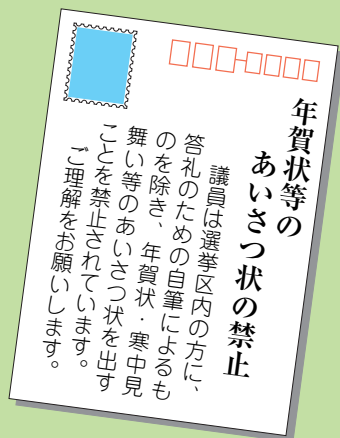
練習中は私語もなく、緊張感が漂う中、みなさん真剣に取り組んでいらっしゃいました。

会が発足して8年とのことですが、今後もみなさん元気に過ごせるよう頑張ってください。

(宮田和美)

表紙の写真

運動会や伝統芸能発表会での披露に向けて、太鼓の練習に励んでいる園児の皆さん(大口北保育園)



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

12月定例会予定

- 11月28日(水) 提案説明
- 12月 3日(月) 一般質問
- 12月 4日(火) 一般質問
- 12月 6日(木) 質疑
- 12月 7日(金) 質疑・委員会付託
- 12月11日(火) 総務建設常任委員会
- 12月13日(木) 文教福祉常任委員会
- 12月20日(木) 討論・採決

手続きは簡単です！
役場3階で名前を書くだけ